

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問

6月定例会では15・18・19日の3日間で15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



一般質問

一関 和一 議員（立憲民主党）

提案した蕨版エンディング（終活）ノートが完成！次は高齢者お助け情報ガイドブックの作成だ！

議員 昨年の12月定例会で提案した蕨版エンディングノート作成の進捗状況はどうか。

健康福祉部長 高齢者のみの世帯が増加し、後期高齢者の割合も増えている状況から需要もあると思われるため、民間の企画会社と協定を結び、作成した。いざというときはもちろんのこと、今の生活を見直す機会にもなることから、多くの方に活用してほしい。

議員 高齢者のだれもがいきいきと自立した生活を送るための手助けとして、市の高齢者福祉サービスを始め、医療機関や飲食店等の一覧表、高齢者クラブや公民館活動、地区のボランティア活動などを網羅した情報ガイドブックを作成する考えはないか。

健康福祉部長 他の自治体のものを参考に今後研究したい。

市立病院の経営診断の実施について

議員 市立病院は、建て替えが喫緊の課題だが、将来の経営形態の見直しを鑑みて、経営診断をしてはどうか。

病院事務局長 蕨市立病院将来構想を策定する上で、コンサルティング会社による外部環境、内部環境などの経営分析・診断を行うほか、病院機能におけるさまざまなシミュレーションを行い、検討することとしている。

道路を安全に利用するために

議員 私道下に埋設する上下水道管の老朽化対策は喫緊の課題である。布設替えの際、新たな助成制度を検討してはどうか。



いちのせき かずいち

都市整備部長 市が管理する下水道管路の老朽化対策をまずは着実に進めたいと考えている。新たな助成制度は、財政的な課題もあり、現時点では難しいが、近隣市の動向に注意し、調査・研究していく。

水道部長 水道使用者等が維持管理することが基本であるため、現段階で新たな助成制度等を設けることは難しい。

議員 通学路における交通量の多い交差点に歩行者用信号機を優先的に設置すべきではないか。

市民生活部長 これまでも、歩行者用信号機を設置することが望ましい箇所を市が把握した場合や、市民から要望が寄せられた場合には、警察へ対応を求めてきた。今後さまざまな機会をとらえて交通状況等の把握に努めながら要望が寄せられた場合などは迅速に警察へ働きかけていく。

障がいのある人の暮らしぶり改善

議員 厚生労働省は4月に障がい者の「生活のしづらさに関する調査」を公表した。本人の収入では、65歳未満において、9万円未満が53%、生活保護受給は86%と厳しい。市の計画の目的、障がい者の収入状況の認識はどうか。

健康福祉部長 蕨市障害福祉計画は、施設入所者の地域生活への移行、精神障がいのある人にも対応した地域包括ケアシステムの構築、就労移行・定着に向けた支援への目標を定めている。市のアンケートでは、「自分に合った仕事が見つからない」が45%、「求人が少ない」が36%の結果から、就職の難しさ、経済的な厳しさがあると認識している。

健康福祉部長 ①グループホーム等の居住支援機能と、地域移行や親元からの自立等の相談などの整備が求められており、引き続き、安心して生活できるよう支援していく。

健康福祉部長 ②市の調査では、約6割が福祉サービスを受けている。（一方でサービスを受けていない例もあり）サービスになくことが一番大事。引き続き

議員 ①障がい者の高齢化、「親亡き後」を見据えての施策はどのようか。②通所施設は、仲間と集える大切な場である。一方で福祉を利用したくないとする人もあり、家族が障がい者を懸命に支えている実態がある。福祉サービスをもっと周知してほしい。

健康福祉部長 ①グループホーム等の居住支援機能と、地域移行や親元からの自立等の相談などの整備が求められており、引き続き、安心して生活できるよう支援していく。

健康福祉部長 ②市の調査では、約6割が福祉サービスを受けている。（一方でサービスを受けていない例もあり）サービスになくことが一番大事。引き続き



かじわら ひであき

避難所にスフィア基準を

議員 避難所の国際基準（スフィア基準）が注目されている。スペースは一人35平方メートル（2畳）、トイレは女性用が男性の3倍などを定めている。市も参考にしてほしい。

市民生活部長 市では避難所で安心して生活できる対策を定めている。スフィア基準は今後参考にしていきたい。

無料低額診療制度の周知を

議員 経済的理由で病院にかけられない人がいないように、医療費の減免制度と無料低額診療制度がある。無料低額診療制度は、蕨の近くでは、医療生協さいたまの埼玉協同病院・川口診療所・さいわい診療所、済生会川口総合病院で実施している。制度の周知を、

市民生活部長 現在もお知らせしているが、県のホームページへのリンクも検討したい。

あつたか市政を問う

マイナンバーカードの普及と利活用について

議員 本市のマイナンバーカードの交付枚数及び交付率はどのようか。また、マイナンバーカードの普及と多機能化の推進はできないか。

市民生活部長 交付枚数及び交付率については、平成30年5月末現在、再交付などを除く有効交付枚数が8千584枚、交付率は114%である。



出典：地方公共団体情報システム機構ホームページ

総務部長 普及の推進については、カードの交付を平日に加え、原則第2土曜日と第4日曜日の午前中にも行っているほか、カードのオンライン申請の補助を市民課で開始しており、今後も普及促進に向けた取り組みを実施していく。多機能化については、現在、国では電子証明書やICチップの空き領域を活用した取り組みを推進しているが、自治体での活用事例は少数である。有効な取り組みについて、先

地域包括ケアシステムの推進について

議員 塚越地区への第三地域包括支援センターの設置に向けた検討はできないか。

健康福祉部長 高齢者人口の増加により、地域包括支援センターの業務量は増加傾向にある。地域包括支援センターとその人員体制については、適切な配置に努めているが、引き続き地域の実情の把握に努め、新たな設置の可能性も含めて適切に対応していく。

公園の適正な管理と利用について

議員 公園における更なるマ

都市整備部長 職員のパトロールの際にマナー違反者に直接注意を促しており、不法投棄などの被害が多い公園では注意喚起看板の設置による啓発活動を行っている。自主管理団体は、市内46か所の公園のうち、現在38か所に設立され、週1回以上の清掃活動など、公園の維持管理に協力をいただき、多くの公園の環境が良好に保持されている。

議員 市民公園のバーベキューの利用状況と使用料を求める考えについてはどのようか。

都市整備部長 平成13年からバーベキューの利用を許可している多くの方々に利用されている。バーベキューの利用で開放している多目的広場については、バーベキュー専用施設の整備は考えておらず、場所の提供のみであるため、利用料の徴収は考えていない。



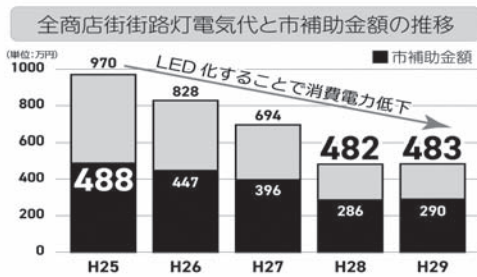
たかはし えつろう

今こそ商店街街路灯 電気料全額補助を

議員 商店街街路灯のLED化の現況と今後の導入の検討状況はどうか。

市民生活部長 平成30年3月末現在、商店街の街路灯全500本のうち、430本がLED化済みで、LED化率は86%。今後は、今年度に塚越大通りの街路灯のLED化が完了すると、455本がLED化済みとなり、LED化率は91%になる。

議員 LED化が進み、現在は、25年度の市の電気代補助額より全ての電気代の方が安くなっている。商店街活性化



平成25年度の市補助金額で電気代全額補助が可能なのです

のために、街路灯電気料を全額市の補助対象にできないか。

市長 市の補助については、商店街への支援強化と、街路灯が防犯上からも公共的な役割を果たしていることから、これまで補助率を拡大してきており、LED化に更に補助率を上げるなどしてきた。更なる負担軽減への要望は理解しているが、商店街にも責任を持って管理してもらうために、一定の自己負担をしていただいているという側面もある。今後も、商店街支援の全体の中で検討していきたい。

廠商工会議所と連携した 企業診断・指導について

議員 企業診断、指導の内容はどのようなものか。

市民生活部長 市内事業者の経営改善を図るため、廠商工会議所と連携し、専門家派遣による企業診断、指導を実施しているほか、商工会議所の経営指導員による訪問指導、窓口指導に対し、小規模企業



ふるかわ あゆみ

指導相談事業補助を行っている。内容については、経営戦略や財務、労務など経営全般にわたり、販売促進、販路開拓に関するものが多い。

アライグマ、ハクビシンの捕獲駆除について

議員 アライグマ、ハクビシンの捕獲駆除に対して、本市の対応はどのようなものか。

市民生活部長 アライグマは特定外来生物であり、積極的な防除の対象となっている。被害者からの相談により、市職員、または住民が箱わなを設置し、捕獲後、職員が回収して埼玉県指定のアライグマ殺処分受け入れ機関へ移送する。ハクビシンは保護対象だが、許可を受けた場合に限り、捕獲及び処分できる。市民が自己責任で捕獲、処分まで行う場合には、当該市民に市から許可を出す、捕獲には危険も伴ったため、鳥獣捕獲に係る団体に委託するなどの案内もしている。

一般質問

市民と時間の共有を！ 蕨駅西口地区市街地再開発事業について

議員 本事業における公共施設に係るその後

の検討状況はどのようなものか。

総務部長 にぎわいの創出や駅前立地への適正、

蕨らしさ、まちへの愛着、

財政負担などの観点から、

複数の施設を比較検討し

ている。本市の玄関口に

ふさわしい公共施設設

の整備に向け、今後さら

に検討を進めていきたい。

議員 事業の推進のため

の都市計画変更のスケジュー

ルは。また、蕨駅西口地区市

街地再開発準備組合の今後の

動きについてはどうか。

都市整備部長 住民説明会を

開催し、計画の概要を説明す

るとともに、公聴会の開催や

都市計画案の縦覧なども行う

その後、都市計画審議会へ諮

り、本年度内の都市計画変更

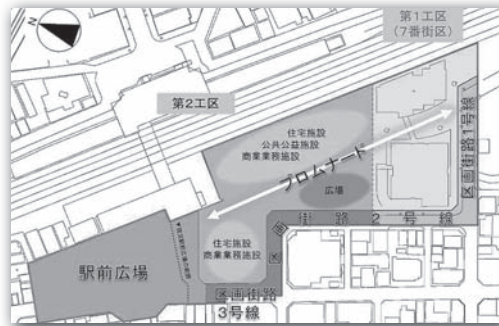
を目指す。準備組合では、本

年度、土地や建物等の調査、

基本設計を進めるなど、事業

計画の作成が予定されている。

議員 市民は「今、どうなっ



都市計画変更(案)における建物等配置図

ているのか」ということがとても気になっている。事業推進には、市民と時間の共有が大切だ。そのためには、市民の声、意見を聞く機会を重ねていってほしい。

切れない計画を！ 中央・西公民館のエレベーター設置

議員 中央及び西公民館のエレベーター設置については、昨年3月定例会で附帯決議を議決し、切れない計画をお願いしているが、エレベーター設計委託の内容はどうか。



まえかわ やすえ

教育部長 委託内容としては、夏ごろまでに、どのような構造や形態での設置が可能なのか、また、現在の建物の構造も踏まえて調査・検討を行い、その後、工事に向けた設計を行うもので、(中央・西公民館ともに)契約期間は来年3月15日までである。

歴史がわかる！『わらび文庫』のデジタル化と活用

議員 わらび文庫は今後どのように活用するのか。歴史的資料としての観点から、デジタル化などの検討はどうか。

総務部長 わらび文庫は、広報で連載していた戦争体験記や蕨の昔話などをポケットサイズにまとめたもので、これまで5シリーズ全9巻発行している。蕨の歴史やまちの移り変わりなどを記した貴重な内容であり、今後市のホームページに文庫の内容を公開するなど、活用を進めていくとともに、文庫の続編の制作についても検討していく。

災害時における給食センターの機能強化について

議員 給食センターの施設の老朽化から、蕨市地域防災計画に記載のある630キログラムの炊き出し能力について、災害時に本当にその機能が果たせるのかが問題になっている。施設や機械設備等の耐震化はどのようなか。

教育部長 学校給食センターの建物は耐震性能を有している。また、配管は腐食による劣化が見られることから、将来的には大規模な改修が必要となり、それまでは必要に応じて修繕による機能の維持を図る。なお、蒸気ボイラーは



災害時、いのちを守る炊き出し施設として充実を



こばやし りき

老朽化による不具合や故障が多いことなどから、今年度ボイラー設備の更新等の設計業務を委託する予定である。

議員 非常炊き出し施設として、給食センターの活用をどのように考えているか。

教育部長 本市の地域防災計画では、大変重要な炊き出し実施場所として位置づけられている。大規模災害時には、炊き出しが実施できる食料支援の活動拠点としての役割を担うために、防災体制の充実に向けていきたい。

町会及び自治会への本市のサポートと加入促進について

議員 新たに地域に居住される方（外国人を含む）に対し、スムーズに町会・自治会に加入できるよう、市として加入促進をどのように図るのか。

市民生活部長 転入手続き時に町会加入を促すチラシを配布するなどの対応をしている。また、外国人住民に対しては英語、中国語、韓国語版のチ

市民会館ホールの緞帳（どんちよう）について

議員 緞帳の作製に当たっての経緯とその価値を本市はどのようにとらえているか。

総務部長 当時の小・中学校の児童・生徒より、原画となる作品を募り、本市出身の著名な洋画家である金子徳衛氏（かねことくゑい）が、自然をテーマに図柄をまとめ上げたという経緯がある。本市が市民と協働する姿勢で施策を進めてきた歴史を伝える貴重なものと認識している。

議員 蕨市が来年60周年の還暦を迎えることを契機に、イベントなどを通して、蕨市の貴重な財産の1つであるこの緞帳の価値を再認識していただきたい。

あつたか市政を問う



新しい市役所は床面積が現状の1.4倍で検討されている

市役所新庁舎の規模・予算をどのように見込んでいるのか

議員 現在地での建て替えとなった市役所新庁舎の規模の見込みはどのようなか。

総務部長 床面積6千500平方メートル、概算事業費39億9千万円と見込んでいる。

議員 現在の市役所は床面積4千695平方メートルであり、新庁舎を6千500平方メートルとする根拠はどのようなか。

総務部長 約14倍で職員の人当たりのスペースなどを考慮した。国の基準だと8平方メートルであり、これでも広いロビーは必要ないなど、

コンパクト化した。

議員 現在、審議会に諮問しているが、いろいろな意見が出ているようである。しかし、これらの数字が示されていないようだ。まとめる上でも示す必要があるのではないか。

総務部長 今後、示していく。

住民基本台帳の閲覧について個人情報保護の徹底を

議員 市内の小さい子どものいる家庭に、NHKからテレビの視聴調査のハガキが届いている。どのように住所や年齢を調べたのかという、住民基本台帳を閲覧したと、本市の閲覧状況はどのようなか。

市民生活部長 国や地方公共団体のほか、統計調査などで公益性が高いと認められるものが住民基本台帳を閲覧でき、昨年度は18件の閲覧だった。

議員 誰が何の目的で、どの範囲の情報を閲覧したか、その公表はどのように行つか。たものを11月に1か月間、市



えのもと かずたか

役所前掲示板で公表している。

議員 他市でも実施しているように市のホームページに載せるなど、常時、市民がわかるようにする考えはないか。

市民生活部長 検討したい。

西公民館の冷房不具合熱中症予防のため暑さ対策を

議員 西公民館の冷房不具合の現状と今後の見通しは。

教育部長 集会室と児童室の冷房が使用できず、部品がなくて修理できない状況である。入れ替えには一定の工事期間と多額の費用を要するので、まずは簡易な冷風機を設置等

で対応し、できるだけ早く効果的な方法を検討する。

議員 市長の考えは。

市長 利用者には、ご迷惑をおかけしている。まずは緊急な対応が必要であり、今後は計画的に対応していく。

議員 熱中症などにならないよう対策を求める。

ほかに 「市長マニフェスト」について質問。

市の負担を減らすために ふるさと納税を考える

議員 ふるさと納税の制度を自治体側から見た場合、住民が他の自治体に寄附することで、本来入ってくるべき税金が入ってこない減収という現象が起こり、市の負担が大きくなるのが問題となっている。諸経費がかかるため、収入から経費を差し引いた額がどの程度あるのか。平成28年度と29年度分の総体的に見た状況はどうか。

総務部長 28年度はおおよそプラス350万円、29年度はおおよそマイナス650万円である。

議員 マイナスの額が今後も増えていくことが懸念されるが、市長の考えはどうか。

市長 現実に市の税収が影響を受けていくということで、返礼品を始めた経緯がある。返礼品等を充実させることを通じて、ふるさと納税として寄附をいただける額を確保していきたいように努力したい。

議員 蕨で育った方々に、ふるさと蕨への納税を促すようなPRを考えてほしい。

防災行政無線のデジタル化について

議員 防災行政無線のデジタル化への計画はどのようか。

市民生活部長 総務省が周波数の有効利用の観点から、アナログ無線システムのデジタル化を促進しており、本市としてもデジタル方式へ移行するため、既存設備の使用期限となる平成34年11月末日までに、電波伝搬調査及び整備工事を実施する予定であり、関連する新庁舎建設事業の進捗状況等を踏まえ、適切な時期に事業実施をしていきたい。



おいしい こういち

高齢者施設及び介護施設における防災対策について

議員 高齢者施設、介護施設における避難訓練は定期的を実施されているのか。市はどの程度把握しているのか。

健康福祉部長 17のすべての事業所が定期的に避難訓練を実施している。

議員 各事業所の防災マニュアルは整備されているのか。

健康福祉部長 すべての事業所において、防災マニュアル等の非常災害対策計画を策定している。また、策定した計画が必要項目を満たしていない事業所に対しては、改善依頼を行うとともに、以降、毎年、非常災害対策計画の見直しや訓練実施の徹底について通知を送っている。

一般質問

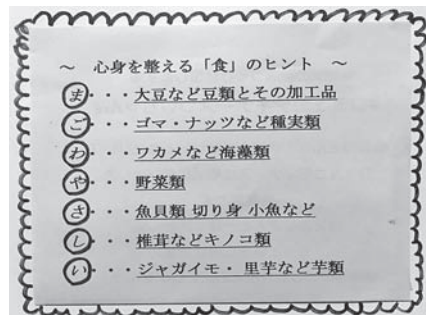
蕨市国保医療費データが出た！ 本気で生活習慣改善への取り組みを

議員 入院以外分の医療費（療養給付費）を中分類で見ると、糖尿病、高血圧性疾患、腎不全など生活習慣病関連が大部分というデータが出た。食生活も大きく影響していると思われるが、どのような取り組みをしているのか。

市民生活部長 特定健診の受診結果と合わせて交付する資料の中に、高血圧や脂質異常、高血糖などの症状ごとに食生活や運動などの改善策を掲載して、生活習慣病予防や健康のための食生活の正しい知識の普及・啓発に努めている。

議員 特定健診の受診率向上や特定保健指導実施率の低迷状態の脱出に向けて、健診期間の延長、早期受診者へのTシャツを抽選ではなく全員に配布すること、健康ポイント・マイレージ制への組み入れなど、動機づけにもっと予算をつける考えはないか。

市長 財源に限りがある中で、



バランスの良い食事をとるヒント「まごわやさしい」

よりよいあり方を研究したい。

議員 医療費適正化対策でエネルギー医薬品の利用促進を挙げているが、重複投与や多剤服用の問題もある。医師会、薬剤師会との協議はどのようか。

市民生活部長 2カ月以上連続して同一名、または同一効果の薬が30日を上回って処方されている方に、薬局や医師への相談を促す通知を昨年12月より発送している。

第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

議員 以前、第7・8期計画



おいしい けいこ

あたりで検討するという答弁があった3つ目の地域包括支援センターの設置に向けて必要と思われる高齢者の地区別状況の分析はどうか。

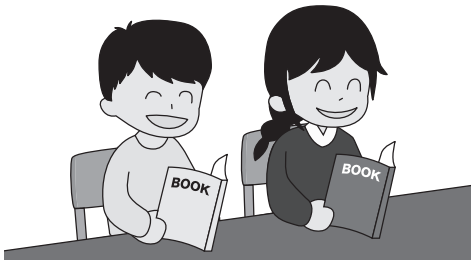
健康福祉部長 本市は地域が小さく、市全体を地域包括ケアシステム構築の単位とするのが適当であるとの認識から、地区別に対象を絞った調査は実施していない。しかしながら、高齢者の生活状況の把握は必要であるので、今年度地区別の住民座談会を計画しているところであり、きめ細やかな状況把握に努めたい。

議員 認知症予防講座をこれまで一度も開催していない地域がある。地域格差を是正していただきたい。

市長 市が事業者に委託して、市民に広く大事な事業として実施しているもので、解消するような努力をしっかりと事業者に求めている。

ほかに 今年4月から始まった小学校の道徳科について質問。

子どもたちに読書の楽しさを知り、読書習慣を身につけてもらおう



子どもの頃に身に付けた読書習慣は宝物

議員 蔵のすべての子どもたちに、読書の楽しさを知ってもらい、読書習慣を身につけてほしいと願う。蔵市子ども読書活動推進計画（当初の5か年計画が2年間延長して、今年度まで）の進捗状況は。

教育部長 家庭、地域、学校において、具体的な取り組みを定めて実施し、達成に至らなかったものは、延長期間中に達成できるように取り組む。

議員 子どもに読書習慣を身に付けてもらうための方策は5年単位で考えるようなものではなく、普遍的なものではない。

ずだ。国や県の上位計画に合わせて安易に5か年計画を立てるのではなく、もっと長期的に普遍的に通用することもしっかり考えてほしい。また、数値目標の設定はなじまないの慎重に。現計画では「児童書の年間貸出件数」の目標を設定しており、量や時間も大事だが、質の確保も大切だ。

自転車の交通安全について

議員 本市は、平地で交通至便なので、自転車がよく使われている。本年4月より県条例によって自転車保険への加入が義務化された。市内における園児・児童・生徒の加入状況はどうか。促進のために何をやっているか。

健康福祉部長 園児の加入状況については把握していない。保護者にチラシを配布するなどの周知を図っている。

教育部長 保護者へ文書で周知するなどの啓発を図り、4月の自転車保険加入の調査で



ほや たけし

は、小・中学校合計66%となり、昨年12月の調査に比べて3倍以上の加入率となった。今後も啓発活動を継続したい。

議員 自転車レーンが増えているが、自治体によってペイント方法が異なるし、ルールも周知されていない。わずかもクルマが踏んだら違反なのか？原付が走ったらダメなのか？はっきり答えられない人は多いだろう。反対車線の逆走や夜間の無灯火も依然として多い。啓発活動の強化をして多い。

錦町スポーツ広場の改善要望

議員 本年2月に人工芝化・ナイター対応のリニューアルオープンをした錦町スポーツ広場について、①日除け設置による熱中症対策②小さなボールのフェンス下の隙間からの転がり対策を要望する。

教育部長 ①休憩スペースへのテント設置を認めるなどの対策をしている②土を足すなどの対応をしていきたい。

あつたか市政を問う



地域の店舗・事業所を応援する市の独自制度を

商店など中小企業への支援拡充を

議員 市内事業者における生産性向上特別措置法の効果・影響についての認識はどうか。

市民生活部長 同法による市町村の計画に基づき認定を受けた設備投資について、固定資産税等を3年間ゼロから2分の1の範囲で軽減でき、固定資産税ゼロの市町村の企業には、国の補助金等の優先採択、補助率引き上げ等の重点支援が行われる。競争力強化などの効果があると考えている。

議員 これまでの市内事業者の補助金採択の実績はどうか。

市民生活部長 ものづくりサービス補助金は申請3件、採択1件、小規模事業者持続化補助金は申請43件、採択19件（平成28年度実績）等。

議員 これらの条件に合う市内事業者には積極的に活用してほしい。一方で、県内でも多くの市町村が本制度での補助金優先採択の対象となる等、市内事業者が有利とはいえない。また、より多くの事業者が使えるよう実情に合った制度が必要。「魅力的な店舗をつくりたい」との事業者の思いから始まった事例もある。蔵市でも独自の視点を活かした「リニューアル助成制度」を実施するよう求める。

蔵駅西口再開発について

議員 市民から、ビル風、日影、工事・車両の影響、駐輪場・駐車場の確保等、事業推進にかかわる心配の声や対応の要望が出されている。事業化の中で対応を。ところで、市長は就任以来、見直しや検討を行ってきたが、見解は。



すずき さとし

市長 1期目のマニフェストでは（再開発の）情報公開の徹底と市民参加による再検討を掲げ、第一工区での市負担軽減を図る等の成果があった。また、中央第一土地区画整理事業をまちづくりの手法に転換して負担を大幅軽減。（前市長の）連続値上げ計画は中止し、財政健全化を進めながら、中学校卒業までの医療費無料化等の市民の願いにこたえてきた。こうした中、老朽化した駅前整備などは重要な課題であり、市民要望も高い。2期目は、市の負担軽減を検討し、駅前広場の幅を最小限に抑えることや、第二・第三工区の一体的推進等を打ち出した。3期目は、市の玄関口にふさわしい再開発の推進を掲げ、未来につながる大事な事業と位置付けた。今後、広く意見を聞き、情報を発信するとともに、市負担にも留意しながら進めたい。

ほかに 「教育センター等教育施策」について質問。

みやした 奈美 議員（日本共産党）

本市独自のパートナーシップ制度の実現を

議員 「家族」の形が多様化する現代において、夫婦どちらかの姓にならないければいけない現在の婚姻制度は、今の世の中に適さないさ



どちらかの姓にならないといけない現在の婚姻制度。夫・妻の記入欄もあり

まざまな問題がある。性的少数者や事実婚カップルの不利益等を解消するため、蕨市独自のパートナーシップ制度を創設し、証明書の発行などを検討できないか。

市民生活部長

本制度が、多様性を尊重する視点から自治体で導入され始めていると認識しているが、制度の根拠や実効性などを慎重に調査・研究する必要がある。証明書の発行は、本制度の取り組みに至った場合には検討したい。

男女共同参画の環境づくりの拡充について

議員 共働き夫婦が増加しているのに、家事・育児は主に



みやした なみ

市民生活部長 いろいろと検討していきたい。

性犯罪被害者支援等の取り組みについて

議員 被害者が相談に来た場合に、各担当部署の職員が集まることで、1か所で相談できるワンストップ体制を整備してほしいが、考えはどうか。

市民生活部長

本年4月から、市民活動推進室に「犯罪被害者支援総合対応窓口」を明示しており、研修を受けた職員が対応する。他部署が関連する場合、担当部署の職員が相談室に来て対応するので、相談者はそこを動かさずに、相談や手続きをすることができると言わないようにするため、研修を受けた職員も同席して仲介役の役割を果たせるよう努めていく。相談者の気持ちに寄り添い、相談者が安心して相談できるようにしたい。

ほかに

「就学援助の小学校入学前の支給」について質問。

一般質問

山脇 紀子 議員（日本共産党）

子育てするならわらび母子手帳取得時からつながりを

議員 新年度の待機児童数と待機児童とならなかった不承諾者の理由別人数はどうか。

健康福祉部長

待機児童数は22人で、年齢はすべて3歳児。家庭保育室を利用している方が4人、求職活動を休止している方が9人、特定の保育園のみ希望している方が67人。

議員 引き続き、待機児童ゼロを目指しての取り組みが求められるが、考えはどうか。

健康福祉部長

今後も認可保育園を中心とした施設整備を進めていきたい。

市長

子育て支援は重要な施策であり、まちの未来につながっている。保育士を確保して定員拡大の努力をしていきたい。

議員 病児保育室の設置に向けての検討状況はどうか。

健康福祉部長

現在、1つの事業所に病児保育室の併設を打診するなど、取り組みを進めている。

議員 子育て世代包括支援センターの設置に向けての検討

状況はどうか。

市長 どういった形での支援や連携がいか研究し、子育て支援を強めていきたい。

議員 市独自で母子健康手帳交付時に保育ニーズの調査を行い、待機児童対策につなげてほしいと考えるがどうか。

健康福祉部長 より実態に即した保育の必要量の把握につながる可能性もあるので、調査・研究していきたい。

公共施設の喫煙所の設置場所の検討を

議員 市立病院の喫煙所は、共産党蕨市議団等の声にこたえて移動された。南公民館や西公民館は、学童保育の児童が通る場所にあるなど、受動喫煙が避けられない。喫煙所の移動を考えてほしい。

教育部長 利用者の声を聞きながら検討していきたい。

安心できる介護保険制度を

議員 埼玉県議会に自民党が



やまわき のりこ



建設が待たれる蕨市で4か所目となる特別養護老人ホーム（中央7丁目）

健康福祉部長 待機者数は4月1日現在で101人。県議会の附帯決議は平成30年度以降の事業認可が凍結の対象です。すでに認可された中央7丁目に建設中の当該施設に影響はない。建物は10月頃に竣工し、31年2月の開所予定である。

自治体の憲法とも言える「自治基本条例」の制定を

議員 自治基本条例とは、地域課題への対応やまちづくりをだれがどんな役割を担う、どのような方法で決めていくのかを文書管理化したもので、自治体の仕組みの基本ルールを定めるための条例である。

私はこの案件について、平成14年12月議会ですべての議員をさせていただき、平成21年12月議会には再度提案をし、はや16年近くの歳月が流れた。この自治基本条例について、どのような調査・研究をしてきたのかお聞きしたい。

中小企業への支援事業について

議員 中小企業が新たに導入する設備に係る固定資産税を、自治体の判断で3年間最大ゼ口にできる特例措置を盛り込んだ生産性向上特別措置法が、公明党の強力な推進で成立した。特例措置の内容はどうか。

総務部長 平成24年に、蕨市市民参画と協働を推進する条例の制定に関して、まずは市民参画・協働のルールを定めた条例を制定し、自治基本条例の制定は、その必要性や市民の条例を求める機運が醸成されることが重要との答弁をした。本市はこれまでも市民参画・協働のまちづくりを進めてきた豊かな土壌があり、更に自治の基本原則にかかわる制度や将来構想により、ま

ちづくりの理念などが定められている。そのような本市の特性や課題、市民の機運等を踏まえ、今後も調査・研究していきたい。



まつもと とおる

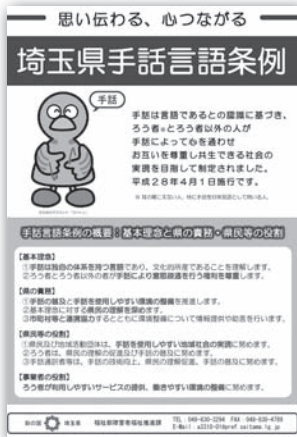
手話言語条例の制定について

市民生活部長 さまざまな広報媒体や機会を通じて、市内事業者へ情報提供する。

議員 障害者の権利に関する条約や障害者基本法において、言語として位置づけられた手話を市民が使いやすい環境にしていくことは市の責務であり、今こそ取り組みを進めていくべきである。手話言語条例制定の検討状況はどうか。

健康福祉部長 他自治体の情報収集などしながら、聴覚障害者協会の方々を初めとする当事者の方々や手話サークルの方々とともに研究したい。

均1%以上向上する機械装置、測定工具等となっている。



埼玉県が作成している手話言語条例のリーフレット

あつたか市政を問う

放置された老朽空き家の改善を急げ

議員 市内を移動していると、ここは利用されているのかと疑問に思ってしまう家屋に出会う。中には傾きかけているなど、近隣の方に心配をかけているのではないかと危惧するような家屋もある。市では、平成24年に蕨市老朽空き家等の安全管理に関する条例を定めたが、改善状況はどのようか。



老朽空き家への対策の更なる推進を

都市整備部長 条例施行後、本市が安全管理に関する措置等を求めて改善された事業は29件、34棟となっている。

議員 現在、老朽空き家の対象はどのくらいあるのか。

都市整備部長 適正管理を求めている事業は、約30件となっている。

議員 市として老朽空き家を増やさないために、発生予防の観点から方策を考えていくべきと思うがどうか。

都市整備部長 未然に防げた

用を拡大する考えはないか。

教育部長 現在、パソコンの利用は、郷土資料室の調査・研究の場合のみ持ち込みでの使用が可能となっている。読書室は、電卓の使用はたたく音が響くため禁止しており、パソコンを使用する環境としても仕切りや一定の間隔の確保などが必要ことから、引き続き研究していきたい。

議員 読書室の時間延長と機能充実として無線LANを設置できないか。

教育部長 図書館本館の閉館時間は午後6時までとなっているが、読書室の利用は、北町分館では午後9時30分まで利用ができることから、遅くまでの利用はそちらを案内している。また、無線LANの環境整備については、費用や安全性などの課題があるため、今後研究していきたい。

ほかに 「学校環境衛生基準への対応」「東京オリンピック・パラリンピックへの対応」について質問。



ひき こうじ

政務活動費の執行状況をお知らせします

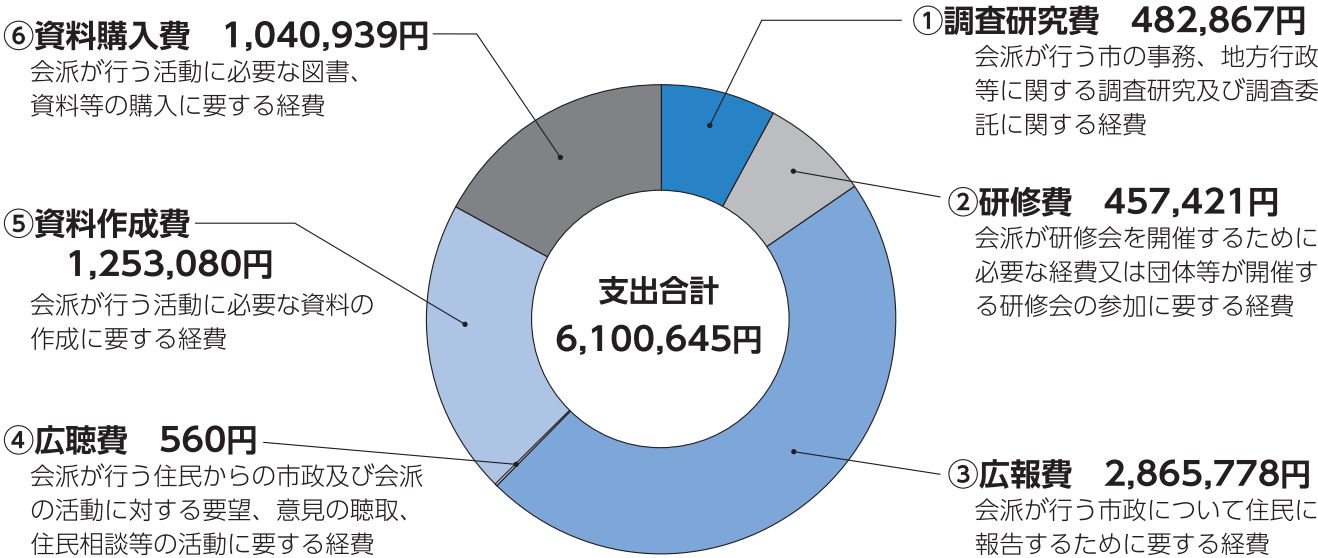
平成29年度に各会派に交付された政務活動費の執行状況は次のとおりです。蕨市議会では使途の透明性を高め、各会派の活動内容を明らかにするために収支報告書を公開しています。
(議員1人あたり月額33,000円の政務活動費が交付されました。)

平成29年度政務活動費収支報告

(単位：円)

会 派 名		新生会 (9人)	日本共産党 (4人)	公明党 (3人)	民進党 (1人)
項 目					
交 付 額		3,564,000	1,584,000	1,188,000	396,000
① 調 査 研 究 費		482,867	0	0	0
② 研 修 費		431,197	26,224	0	0
③ 広 報 費		1,616,524	842,449	191,160	215,645
④ 広 聴 費		0	560	0	0
⑤ 資 料 作 成 費		468,167	192,813	518,145	73,955
⑥ 資 料 購 入 費		383,889	159,438	382,888	114,724
支 出 額		3,382,644	1,221,484	1,092,193	404,324
返 還 額		181,356	362,516	95,807	0

※新生会は181,356円を、日本共産党は362,516円を、公明党は95,807円をそれぞれ返還済みです。
※会派名は平成29年度の名称で表記しています。



9月定例会の日程（予定）

8月30日(木) 開 会	10日(月) 委 員 会	21日(金) 一般質問
9月5日(水) 質 疑	11日(火) //	25日(火) //
6日(木) 委 員 会	12日(水) //	26日(水) //
7日(金) //	13日(木) //	28日(金) 閉 会

傍聴に来て
みませんか？

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】4階 議会事務局 電話 (433) 7733 (ダイヤルイン)

広報広聴委員会を開催しました

6月21日
「9月発行号の概要、
議会報告会について」

8月16日
「9月発行号の最終確認、
議会報告会について」

編集後記

秋に代表される和歌、「秋風に たなびく雲の たえ間より もれいつる月の 影のさやけさ」は藤原 顕輔の代表作である。◆時代は平成、最後の9月。まだまだ暑い日が続いている。今年の7月・8月と猛暑・酷暑の中にあつて、水害により国内の至る所で被害が発生。特に西日本における豪雨災害は、平成最悪と報道された。◆平安時代を含め、いつの時代も大きな災害はあった。しかし、時代の先人達はそれを乗り越えてきた。さて、これから本格的な秋の深まりになる季節、台風による水害や地震等の自然災害が起こらないことを祈りたい。◆近年、秋風を感じることも無いまま年の瀬を迎えていた。今年こそ秋を感じてみたいものである。

広報広聴委員会

委員長 大石 幸一
副委員長 前川やすえ
委員 大石 圭子
榎本 和孝
みやした奈美
小林 利規
保谷 武